

介護予防支援経過記録（サービス担当者会議の要点を含む）

利用者氏名

函館 山太郎 様

計画作成者氏名

×× ××

年月日	内容	年月日	内容
令和3年8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ● 慢性気管支喘息の持病により、特に明け方に重度の喘息発作を起こすことが多いため、速やかに自力で一定の角度に起こす必要があり、例外給付に該当する要件(i)に該当する可能性があると考えられたことから、医学的所見について確認する。 ◇◇クリニック◇◇医師に電話照会。 「重度の喘息発作時に、呼吸苦の重篤化を回避するため、上体を速やかに一定の角度に起こす必要があり、福祉用具の状態像(iii)に該当し、特殊寝台および特殊寝台付属品の導入が必要であると判断する。」との意見をいただいた。 		
令和3年8月15日	<ul style="list-style-type: none"> ● サービス担当者会議の開催（時間：14：00～15：00） ○ 参加者：本人、長女、介護支援専門員、△△訪問介護事業所、福祉用具貸与事業所★★ ○ 検討した項目：福祉用具（特殊寝台および特殊寝台付属品）の必要性について ○ 検討内容： <ul style="list-style-type: none"> ・◇◇クリニック◇◇医師から「重度の喘息発作時に、呼吸苦の重篤化を回避するため、上体を速やかに一定の角度に起こす必要があり、福祉用具の状態像(iii)に該当し、特殊寝台および特殊寝台付属品の導入が必要であると判断する。」との意見をいただいた。 ・上記の医師の所見のとおり、気管支喘息の持病があり、特に、明け方に重度の喘息発作をおこすことが多く、発作時は自力で起き上がることが難しいため、特殊寝台および付属品の導入は危険回避に有効と思われる。 ・本人は「電動ベッドがあれば、発作が急におきてもすぐ一人で上体を起こせるので安心できる。」と話す。 ・福祉用具貸与事業所★★より、電動で即座に背上げ角度調整ができる機能のついたものが良いかと思われる意見あり。 ○ 結論：本人の状態から、電動で即座に背上げ角度調整ができる機能のついた特殊寝台および付属品が必要であるため、貸与の手続きを行う。 ○ 次回の予定：必要に応じて随時開催する。 		<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> <p>①医師の医学的所見 （確認した日時と確認方法[訪問・電話等]，医師名・病院名，診断名等に起因する状態像）</p> <p>②医師の医学的所見に基づき必要性の判断</p> <p>③本人・家族の意向</p> <p>④サービス担当者会議での必要性の検討</p> </div> <p style="text-align: right;">などを記載します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>単に「福祉用具〇〇が必要である」ではなく、疾病その他の原因およびそれに起因する状態像を具体的に記載してください。</p> </div>

※ 1 介護予防支援経過は、具体的には、時系列に出来事、訪問の際の観察（生活の活発さの変化を含む）、サービス担当者会議の内容、利用者・家族の考えなどを記入し、介護予防支援や各種サービスが適切に行われているかを判断し、必要な場合には方針変更を行うためのサービス担当者会議の開催、サービス事業者や家族との調整などを記入する。

2 サービス担当者会議を開催した場合には、会議出席者（所属（職種）氏名）、検討した内容等を記入する。